名前：范　立君（はん　りっくん）

最終学歴：一橋大学経済学研究科博士課程単位取得満期退学
職名：教授
学位：博士(経済学)
担当科目：経済学入門 C1、アジア経済論、社会経済学、マクロ経済学ＡC2、ミクロ経済学ＡC2、専門演習、専門基礎演習
所属学会：経済理論学会、社会主義理論学会、社会関係学会
専門分野：中国経済論、金融論、

■研究業績

【著書】（共著、編著、執筆分担を含む）

1. 『現代中国の中小企業金融－中国型リレーションシップ・レンディングの展開の実情と課題』（単著）時潮社, 2013 年 4 月
2. 『ソーシャル・キャピタルと経済』（共著、第 9 章執筆）大守隆編、ミネルヴァ書店, 2018 年 10 月
3. 『増補版 現代中国の中小企業金融－中国型リレーションシップ・レンディングの展開の実情と課題』（単著）時潮社, 2021 年 8 月
4. 『未来の学び-小学生のための生涯学習講座』（共著）、学術研究出版、大学コンソーシアムやまなし、2022 年 3 月

【論文】［査読付きは＊］

1. 「日本のバブル経済―金融の自由化と資本蓄積構造の転換の視点から―」一橋大学修士号(経済学)取得論文, 2005 年 3 月＊
2. 「20 世纪 80 年代以来日本企业融资方式的变化」（20 世紀 80 年代における日本企業資金調達方式の変化について）《国外理论动态》（Foreign Theoretical Trends）2007.4（总第 374 期）中共中央编译局(中国語論文), 2007 年 4 月＊
3. 「富の形態としての商品―価値形態と社会関係をめぐって」『一橋研究』第 32 巻 2 号, pp.49-68, 2007 年 7 月
4. 「中国型リレーションシップと中小企業金融－中国民間金融の展開とその限界－」『季刊経済理論』第 47 巻第 4 号, pp.65-75, 2011 年 1 月＊
5. 「中国の中小企業の資金調達難」『一橋研究』第 36 巻 1 号, pp.27-48, 2011 年 4 月
   ――2014 年 7 月にて中国関係論説資料第 54 号転載採録
6. 「現代中国の中小企業金融―中国型リレーションシップ・レンディングの展開の実情と課題―」一橋大学博士(経済学)取得論文, 2011 年 4 月＊
7. 「中国の中小企業金融とリレーションシップ・バンキング形成の失敗」『政経研究』No.96,

pp.84-95, 2011 年 6 月＊

8. 「中小企業金融における中国の商業銀行の政策対応とその限界」、『都留文科大学研究紀要』第 77 集, pp.31-48, 2013 年 3 月＊
   ――2014 年 9 月にて中国関係論説資料(書籍版及び CD-ROM 版)第 54 号転載採録
9. 「激化する海洋主権争いと、低下する海洋主権の経済的意味」『産研通信』 NO.92, 桜美林大学産業研究所, 2015 年 3 月（共著）
10. 「中国のシャドーバンキング業務の膨張と金融改革」『政経研究』N.106, 政治経済研究所, 2016 年 6 月＊
11. 「中国の急成長を支えた人脈資本主義【補論付き】」『大月短大論集』第 49 号，大月短期大学, 2018 年 3 月
12. 「日本のバブル経済に関する再考察―資本蓄積構造の転換と金融の自由化の視点から―」『大月短大論集』第 51 号，大月短期大学, 2020 年 3 月
13. 「改革開放後中国の不動産市場の動向と不動産政策」『大月短大論集』第 52 号，大月短期大学, 2021 年 3 月
14. 「法定デジタル人民元とその可能性について」『大月短大論集』第 55 号、大月短期大学, 2024 年 3 月
15. 「デジタル人民元とドル覇権打破の可能性について」『大月短大論集』第 56 号、大月短期大学, 2025 年 3 月

【その他】（報告書、書評、翻訳、エッセイなど）

1. Marcello Musto「《共産党宣言》在意大利和日本的传播与影响」《当代世界与社会主义》（CONTEMPORARY WORLD & SOCIALISM ）、2007.2(总第 66 期) 中华人民共和国新闻出版总署（翻訳), 2007 年 2 月
2. 「《大纲》研究的重要文献—默斯托主编的《马克思的〈大纲〉》述评」《馬克思主義与現実》, 中共中央编译局(中国語書評), 2011 年 11 月
3. 前畑雪彦「管理通货制度下的货币资本积累和现实资本积累 - 基于黑田日銀的金融政策和现实资本积累」『高校马克思主义理论研究』2016 年第Ⅰ期, 第 2 卷，清華大学马克思主义学院（翻訳), 2016 年 6 月
4. 「中国のシャドーバンキングの膨張と金融改革、および質疑応答」『信用理論研究』第 35 号,信用理論研究学会(報告書), 2017 年 5 月
5. 「社会关系资本和现代中国的经济增长」『第六届中日社会主义论坛论文集』 中国扬州大学,（中国語報告書）2018 年 12 月、pp.46-49
6. 「关于日本泡沫经济的再考察—基于资本积累结构的转换以及金融自由化视角--」『中日韩马克思主义研讨会论文集』（中国語報告書） 中国大连海事大学 2019 年 11 月、pp.82-91
7. 「現代中国の中小企業金融と金融改革」『社会主義理論学会会報』 第 84 号、2022 年 7 月

8.「デジタル人民元とドル覇権打破の可能性について」『社会主義理論学会会報』 第 89 号、2025 年 2 月

【学会報告・研究発表】

1.「日本のバブル経済－金融の自由化と資本蓄積構造の転換の視点から－」経済理論研究会、立教大学、2005 年 12 月
2.『共産党宣言』の普及と影響の歴史についての国際シンポジウム―翻訳史から見る文化の受容と変容の研究―(中国語・日本語通訳), 立教大学にて, 2006 年 12 月
3.「中国の民間金融と中小企業の共存」経済理論研究会、立教大学、2010 年 1 月
4.「中国の公的金融と中小企業」経済理論研究会、立教大学、2010 年 4 月
5.「中小企業金融における中国の商業銀行の政策対応分権型の「三包一掛」の貸出制度を中心に―」経済理論学会, 立教大学, 2011 年 9 月
6. 「中国のシャドーバンキングの膨張と金融改革」独占研究会第 502 回、明治大学、2015 年 10 月
7.「中国のシャドーバンキングの膨張と金融改革」信用理論研究学会, 立教大学, 2016 年 5 月
8.「中国の急成長を支えた人脈資本主義」法政大学大原社会問題研究所　2016 年 9 月
9.「ソーシャル・キャピタルと中国経済」、マルクス生誕 200 周年記念の日中国際フォーラム，中国揚州大学，2018 年 12 月
10.「ソーシャル・キャピタルと中国経済」、日中政治経済国際シンポジウム，中国北京理工大学，2019 年 5 月
——日本語・中国語通訳及び発表資料の翻訳、中国北京理工大学、2019 年 5 月
11.「日本のバブル経済に関する再考察―資本蓄積構造の転換と金融の自由化の視点から」、中日韓マルクス主義シンポジウム、大連海事大学、2019 年 11 月
12. 「現代中国の中小企業金融と金融改革」、社会主義理論学会第 90 回定例研究会（Zoom によるオンライン研究会)、2022 年 2 月
13. 「法定デジタル人民元とその可能性について」、2023 年日中社会主義フォーラム、慶應義塾大学、2023 年 8 月
14.「デジタル人民元とドル覇権打破の可能性」、社会主義理論学会第 98 回研究会（Zoom によるオンライン研究会)、2024 年 10 月
15.「デジタル人民元の目的とドル覇権打破の可能性について」、第 567 回独占研究会、東京経済大学、2026 年 9 月 19 日
16. 経済理論学会第 74 回大会において、高志翔氏の研究報告「中国のシャドーバンキングをめぐる諸学説への批判 －内生的貨幣供給説に基づく理論的再構築－」に対するコメンテーターを担当（2026 年 9 月）

■社会活動

1.「外資導入と中国の地域格差」国際留学生友好交流フォーラム，中国大使館主催，在日中国大使館(講演), 2006 年 2 月
2.「中国のシャドーバンキングー委託融資と理財商品を中心に」三重短期大学地域連携講座―これからの日中関係を考える点から，三重短期大学主催，津市(講演), 2013 年 9 月
3. 会員査読者、経済理論学会（2018 年 10 月）
4. 中国山東大学経管学院　夏休み集中講義　招聘講師（2019 年 7 月）
5. 会員査読者、アジア政経学会（2019 年 9 月）
6.「お金はどのように生まれたのか？」大学コンソーシアムやまなし主催、「未来の学び」山梨県の小学生向け講義、山梨大学にて、2021 年 10 月 17 日